

再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

人はすべからず、終生の師をもつべし。

真に卓越せる師をもつ人は、終生道を求めて歩みつづける。

その状あたかも、北斗星を望んで航行する船の如し。

森信三先生一語千鈞より

第0059号

2021.7月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十二敬と愛とは相呼応して無限に循環する

義務と友愛

そして、社会構成の一員として自己に与えられた義務を厳しく遂行するばかりか、等しく「神の子」として生きる縁ある人や友のために、奉仕と救済を旨とする「友愛」こそ、西洋における倫理の根本原理といえましょう。そこでわたくしの学ぶべき「生き方」としては、東洋につたわる「考」の原理を改めて再認識するのみならず、西洋倫理の根本である「友愛」の実践をもあわせて重んじて、初めて真の人間の道と申せましょう。

夫婦のあり方

以上わたくしが、東西の倫理宗教の相違について申したのは、やがて廿一世紀を迎えようとしている人類は、今こそ東西両文化の歩み寄り、さらにはその融合のために、それぞれのもつ特質を比較考察することこそ、人類文化への一大貢献というべきだからであります。そしてその為にも、本章の主題たるいのちの根本作用としての「敬は愛を叫び、愛は敬をよび、」たがいに呼応循環するという宇宙的真理の一端を、わが身に体したいものであります。

それゆえ子としては、親に向つて愛を求むべきではなくて敬すべきであり、親としても子に向つて孝の実践を求むべきでなくて慈しむべきであります。かくして親も子も、互いにそれぞれ自反自省して、自らの足りなさを見つめると同時に、それぞれの「分」とするところの持続的実践を決意すべきであります。

先に子の立場から、考とはわが身に対する親の祈り心への目覚めに始まり、その洞察と実践に終わると申したわけですが、ひるがえつて親の立場からは、やは

実践人福岡仁風読書会 第55回 6月5日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

り子の心情への察しが大切であつて、現代のわが国のような巨大な時代の変革期にあつては、この点への努力は至重なる意義をもつと申せましょう。それと今日わが国の家庭において、考即ち親の心を察することの実践を最もよく妨げているものは何かというに、それは夫婦のあり方の混乱だといえましょう。子としては日々両親の生活態度を眼前に痛いほど見せつけられているわけであり、随つて親としてはこの夫婦としてのあり方を正さない限り、わが子に対して真のいのちの芽を正しく育てることは出来ないといふでしょう。しかし父母のあり方、夫婦のあり方といつても、現状ではとりわけ父母のあり方が重大といえましょう。すなわち母親のあり方のいかんこそ、父と子をつなぐ絆を左右するものだという点を、真に深く深思している母親が、百人中ではたして幾人あるといえましょうか。今この点に対して結論的に申すとすれば、それは唯の一言即ち「家長としての主人をたてる」という一事であります。言いかえれば、家長たる主人をみずから敬重することを、わが子に対して日々の生活の上で事実の上に示すことでもあります。そしてこれこそが、わが子への敬の心の種まきと申せましょう。これとりもなおさず子らに対して敬愛の念を母親自身が、身を以て享受し得ることになるわけでもあります。

このような母親のあり方を正す実践の着手点として何より大事なことは、ご主人から呼ばれたら必ず「ハイ」という返事の徹底であり、この一事から夫婦生活の真の第一歩はふみ出されるのであります。すなわちこの一事こそ、家庭における親子夫婦の相互敬愛と、その円満大和の秘訣のあることを、この際特に強調したいと思ふのであります。

子どもと校長

学級担任の先生と子どもとの関係が、親と子のようにありたいなら、校長と子どもとはお爺さんと孫のようなものではあるまいか。孫は爺にとつてはただかわいいばかりである。この愛撫の本能を、学校の子どもたちに注ぐことはできないだろうか。

学校を退いた時、子どもたちから、

「校長先生が学校をやめるなんて、うそだ。」

「校長先生が学校をやめられたわけがどうしてもわかりません。」

などと、なじるように、なげくように、ハガキをくれた。わざわざ自宅まで寄ってくれた子もある。私は人間的なつながりがこんなにも深かったのかと改めて驚いている。

校長も子どもあつての校長であるから、何はさておき、子どもと親しくなることに努め、その上で教化の中心になりたいと思った。そのために入学式でひとりひとり手を握り合ったり話しかけたりした。身体検査は絶好のチャンスである。師範学校の入学試験に校長先生が裸の姿をいちいち観て下さったことを思い出す。身体のことから、性格までかくすところがない。家族のことまで話し合うこともできる。その他日常生活の中でつめて接触を続けたことはさきに書いた。

教科のことでは、二つほど私は得をした。ひとつは作文であり、ひとつは書道である。私は作文を新任当時から愛好したので、校長になっても、よく読み、文集作りもして家庭に回覧した。作文は子どものひとりひとりの性格、生活、心情がよくわかる。純心な作品からは、かえってこちらが

学ぶことが多い。問題の子の作品の中にも、純情のひらめきを読み取ったり、解決の鍵を発見したりすることがある。作文を読んでいるうちに子どもへの愛情はついついいき、愛情がつのれば、いつか、子どもとの親しさは増していく。

書道の方も、ひとりひとりの作品に当たればならぬし、それが性格・感情を表しているために子どもを知り、子どもと親しくなるものとなった。高等科のとき、この子だけは、卒業までに何にも力になってあげられなかったとすまなく思っていたのに、

「先生は、何にもわからない私に、いちいち手をとって教えて下さった。」

と書いてくれた女の子がいる。習字の時に手をとって教えたことが、すべてのことに通じているのかと思つて、「手をとって教える」ことの重要さを教えられた。

修治によつて学んだことは、図工にもあてはまる。それは、うまいうまくないの観点からみないで、真情が表れているかどうかである。楠田君は県の展覧会で五客に入選して、学校の評判になったことがある。担任の先生は、うれしい中にも、

「いつもはIしかやつていないのに、あんな審査は困る。」

と言われたことがある。いつも下積みになっている子どもを拾い上げていくことのできるのは、絵の見方である。この子も、学科はすぐれなかったが、それから図工・習字等興味と自信をもち、今はその耕作を活かして自動車修理工として独特の才能によりたいへん重宝がられている。ほんとに芸は身を助けるのである。



集合場所の駐車場でラジオ体操始めました。



今回は新コースでのお掃除でした。特に目についたのが、人通りの少ない歩道の雑草です。立派に主張していて1メートル以上伸びたものや、様々な種類が集まって雑草だけで庭のようになっていたり、おもしろいとさえ思えました。次回は読書会も復活されるとのことでした、楽しみです。 TURUGA



今回の掃除は、童心にかえる楽しい時間となりました♪新しい区域には、広々とした公園がありました。そこには子供たちが大好きな遊具や砂場があります。ブランコの側におかれたサッカーボールや、砂場にある赤や黄色のおもちゃを見ると、子供たちが楽しそうに笑いながら遊んでいる様子が目に浮かびます。捨てられたお菓子の袋やジュースのペットボトルまでもが、木の陰や草むらでかくれんぼをしているように見えました。次回のお掃除も楽しみです♡いつもありがとうございます！ MARIMARI

第36回 福岡空港ミليون清掃
6月5日(土曜日) 9名参加



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 331 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR 九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスマイト**



第331回 博多駅早朝清掃

28年目・・・

6月8日(火曜日)

96名参加



本日は、博多駅筑紫口清掃最後の日となりました。駅前広場の改装工事が始まり、背の低い木が植えられていた垣根がなくなっているせいでしょうか、心なしかいつもに比べるとゴミも少なく、ひっそりとしています。周りの全ての建物や木々が様子を伺ってる、、、そんな空気を感じました。工事を見渡せる位置に、背の高い街路樹が植えられています。この場所で、今までどんなことを見てどんなことを感じてきたのでしょうか☆多来年の3月に完成予定です、この街路樹が喜ぶような駅になることを願いながら、ゴミ拾いをさせていただきました。いつもありがとうございます。 MARIMARI



博多駅筑紫口の改修工事スタート



新博多駅長



司会は中学生



初参加者からの一言！



初参加の女子高生たち



令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

6月26日(土曜日) 第18回



本日は厳肅な雰囲気漂う戒壇院でのお掃除♡今回は墓石周囲の落ち葉拾いをしました。墓石の上では、働き者のアリ達が行列をなして餌を運んでいます。そしてそのすぐ側に、クモの亡骸がありました。虫たちの世界には、人間が息をするように、当たり前前に生と死が共存しています。昔は、人間社会でも当たり前前に家を出産し看取りが行われていましたが、今は、家で行える環境はほぼありません。☆☆☆テレビや新聞では恐怖心を煽る情報ばかりが報道され続けています。そのような状況において、不必要に恐れず冷静に判断するためにも『生も死も自然の摂理であり当たり前のこと』このことを、意識することが大切ではないかな、、そう思う時間となりました。いつもありがとうございます(^^)!

MARIMARI

耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29～

6月12日(土曜日)



今日はトイレの神様の計らいがあったようです♡天気予報では『雨』だったのですが、掃除をしている間は降らず、掃除が終わった途端に雨が降り始めたのです！

神様の姿を目にすることはできないけれど、きっと穏やかな笑顔でみんなの姿を見ていたのしょうね♡タイルを磨きながら、そんなことをしていると、自然と口角が上がってしまいました(^^)おかげさまで、心もほっこりと♡幸せな気持ちになりました。本日も、最強の幸せエネルギーがチャージできる、素敵な時間をありがとうございました！

MARIMARI



新新塚駅早朝清掃/いづか明星寺団地自治会

6月19日(土曜日) 5名参加



先月に引き続きタイルの隙間の草取りをさせていただきました。草を抜くと、隙間から見えるのは、絡み合った『根っこ』。何本もの根っこは頑丈に繋がっています。その有様からは『生き抜く』という、力強さを感じます。種の保存という、同じ使命感で繋がっているのしょうね。人間も一緒、ご先祖さまが繋いでくれた大切な命を次世代に繋げていことは使命だと思います。発起人:小池さんの働きかけで、初参加された地域住民の方♡駐車場を解放して下さった歯科医さん♡同じ想いの人々が繋がることでステキな地域になりそうです!

ありがとうございました(^^)

MARIMARI



雨具を準備して臨みましたが、とっても良い天気になりました。それもそのはず、今日は地元の方が初めて参加された記念すべき日だったからです。

一緒に楽しく汗をかきながら、草むしりをさせていただきました。気持ちもすーっきり。

最後に食べたトマトが最高!

TURUGA

耕作放棄地再生に取り組む農友支援

糟屋郡志免町・鞍手町・

NPO法人 楽農人



初めての草刈り作業



河川側道草刈り奉仕



ドクトル熊井の6NO89農法に支援開始→こうご期待



2021/06/26



2021/06/26

生命の林と人生 五六、糸杉

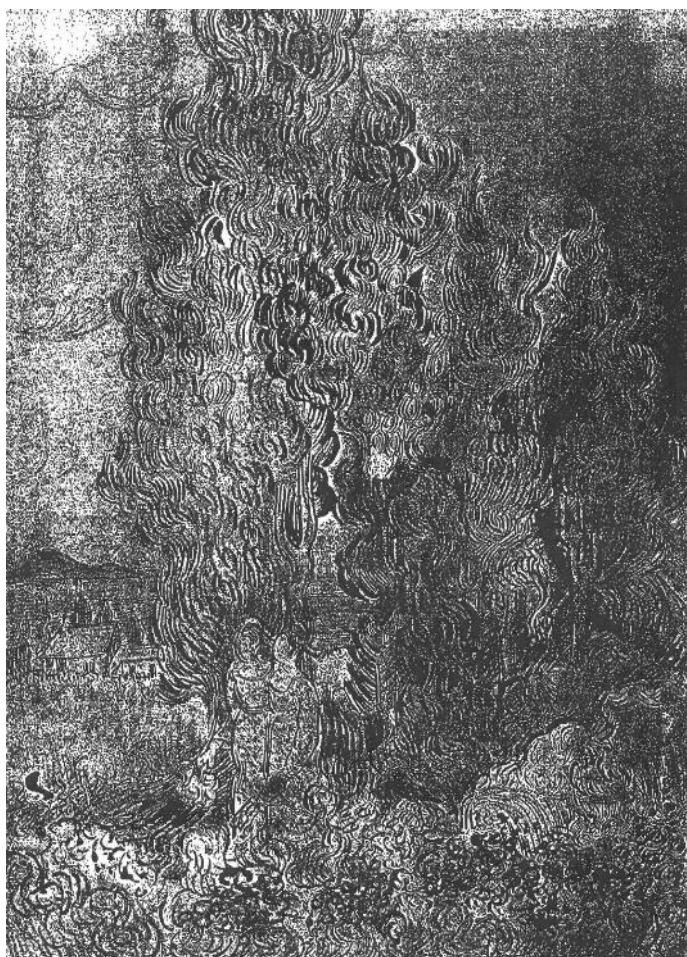
021-6

光然京カルテラ

糸杉は以前からゴッホの作品のなかに登場しているが、一八八九年六月頃のサン・レミにおいて特別にゴッホの関心を呼ぶようになってくる。六月二十五日付のテオ宛の手紙にこう記されている。「糸杉のことがいつも心にあるのだが、ひまわりのキャンバスのような何ものかにしなくてはならない。というのも、僕が見ているように描いた人がいないのが驚きだからだ。線も比例もまるでエジプトのオペリクスのように美しい。緑が格別の性格をしているのだ。これは日のあたたか風景のなかにある黒のひと捌けだが、これは最も興味深い黒の調子で、自分の考えどおり描くのが最も難しいしろものだ」

糸杉はローマ時代以来、墓所と結びついた樹木であった。空に向かって高く伸びる常緑の姿が永遠の生命と命をつげるものと思われたからだが、ゴッホはここではそのことにふれていない。

糸杉の木立の脇を二人の娘が通っているこのスケッチと同じ構図の油彩画は批評家のアルベール・オーリエのために描かれた。彼は一八九〇年一月号の「キユール・ド・フランス」誌に「孤独なものたち：フィンセント・ファン・ゴッホ」のタイトルで評論を発表し、ゴッホの糸杉について「黒が、悪夢のごとき炎の影をうつ」と好意的な意見を述べたのである。テオからこれを知らされて感動したゴッホは、糸杉の習作を一枚贈ることにしたのである。ゴッホがオーリエに宛てた礼状にはこう記されている。「糸杉はプロヴァンスの景色の特徴なので、あなたはそれをかんじられ、色彩は黒ではあるが」といわれることでしょうか。今に至ってもまだ僕は糸杉について自分が感じるとおりに描くことができません。自然を前にして僕がとらえられる感情は、僕の内部で失神を起させるほどののです。「自然を前にしての感情」とともに糸杉は燃え、炎のごとく天上に立ち昇っている。



オランダ王国、クレラー・ミューゼウム・美術館財団 ゴッホの四季、ゴッホの人生より
二〇〇〇年二月 福岡美術館

二〇二一年六月一九日

広葉の林を育てる会

興膳 丈治



	7月の活動予定表						8月の活動予定表					
日	3	3	8	10	17	24	7	7	8	14	21	28
曜	土	土	木	土	土	土	土	土	日	土	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオソソ清掃 第38回	福岡実践人仁風読書会	博多駅早朝清掃 第332回	JR酒殿駅早朝清掃 第7回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第18回	福岡空港ミリオソソ清掃 第39回	福岡実践人仁風読書会	博多駅早朝清掃 第333回	JR酒殿駅早朝清掃 第8回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第19回
場所	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院
開始時刻	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ

七月より博多駅早朝清掃の集合場所が変わりました。
筑紫口↓博多口へ移動しました。

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
 - ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
 - ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交
- 〈合同事務局〉 〒811-2247



福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)
kesa@rakunoujin.com(農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。